

釧路南ロータリークラブ会報

第4回 例会報告 2010.7.23 通算 1358 回

・点 鐘

木内会長

・ロータリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 佐野 実会員

・誕生 祝

福井 克美会員 S24. 7. 25 (61 歳)

北村 甲三会員 S31. 7. 25 (54 歳)

森 伸一郎会員 S37. 7. 29 (48 歳)



福井会員

・お客様と来訪ロータリアンの紹介

白糠ロータリークラブ会長 石森 伸夫君

白糠ロータリークラブ幹事 大坪 洋一君

釧路北ロータリークラブ会長 田村憲一郎君

・会 長 挨 拶



・入 会 記 念 祝

高橋 康成会員 S61. 7. 25 (24 年目)



会員の皆様こんにちは。今日は白糠ロータリークラブの表敬訪問で、石森会長、大坪幹事がお見えになっております。あとで挨拶がございますのでよろしくお願い致します。また、白糠ロータリークラブの表敬訪問は 7 月 30 日（金曜日）に伺いますのでその節はよろしくお願い致します。

今日のプログラムは先週入会式を終えた、佐藤了さ

んの新入会員卓話となっております。入会后すぐ
にお願いする事に、大変だとは思いますが、今日はよ
ろしくお願い致します。新晋州ロータリークラブよ
り文書が届いておりますが、前年会長、工藤ゆかり
パスト会長時に友好クラブとしての文書を郵送して
おります。理事会にて今後のクラブとしての方向性
を検討したいと思っておりますので、結果が出次第
改めて報告しますが、会員の意見も聞きながら進め
ていきたいと思っております。以上、会長挨拶とさ
せて頂きます。

■白糠 RC 石森会長 表敬訪問挨拶



一言ご挨拶申し上げます。今年度、白糠 RC の会長
を仰せつかりました、石森伸夫でございます。そし
て、幹事の大坪洋一でございます。一年間よろしく
お願い致します。

白糠 RC も昭和 35 年に誕生し、道内 33 番目のクラ
ブとして 50 年歩んで参りました。そして、51 年目
の第一歩を踏み出すわけでございます。この 50 年
というと、経済成長、オイルショック、バブル、そ
して崩壊、リーマンショック、未曾有の不況、少子
高齢化社会と目まぐるしく変化して参りました。私
たちを取り巻く社会の機能化、組織化が極端に変曲
し、進むにつれて、その中でロータリーの存在は、
一種、カンフル剤の様であるかと思います。疲弊し
た人間関係を微力でも修復しようとするわずかな集
積がロータリークラブとも考えます。わたくしが入
会当初、ロータリーの事が全く分からず、仕事も忙

しく、出席するのが苦痛に感じていた時期がありま
した。入会して 16 年 100%出席率が 7 年と数字が
物語っていると思いますが、それが 6 年前に幹事を
仰せつかり、それがきっかけで少しロータリーに興
味が出てきました。ロータリーは各歯束が、つまり、
会員 1 人ひとりが行動し、一つ一つのかみ合わせが
なければ何も始まらないと感じてきました。やはり、
ロータリーの例会に出席せずして活動はありえなく、
委員会活動に参加して自分の所属する委員会は何を
すべきかを考え、参加する事が大切だと思ってお
ります。ロータリークラブの抱えている問題は幾つも
ありますがとりわけ一番の悩みは会員の減少である
かと思います。白糠クラブも人口の減少、不況の波
等で大変厳しい状況の中、難しい舵取りを迫られて
おります。小さなクラブは利点ともいえるべき小回り
のきいた地域一体型で地元根づいた活動が重要か
と思います。ロータリーを取り巻く地域との位置づ
け、そして、方向性を模索し、視野を広げ、活動の
輪を広げていこうと思っております。今期より、白
糠ロータリークラブの例会場が北海道銀行から社会
福祉センターに変更になり、メイキャップ等、大変
しやすくなりましたので、白糠にお越しの節には是
非立ち寄って親睦を深めていただきたいと思います
と思っております。終わりにになりますが、釧路南クラブさんの
益々の発展と会員皆様方のご健勝を御祈念申し上げ
まして挨拶とさせていただきます。
今後ともよろしくお願い致します。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

高橋 康成会員	入会記念祝として
福井 克美会員	誕生祝として
北村 甲三会員	誕生祝として
森 伸一郎会員	誕生祝として

出席委員会

会員 25 名 14 名出席メイキャップ 10 名 96%

・長江会計より

残高が少なくなったので、年会費を早めに振り込んで下さい。

・本日のプログラム

「新入会員卓話 佐藤 了君」

担当 クラブ運営委員会

■佐藤 了会員



「生涯学習と私（人の出会いで学んだ事）」

昭和 44 年、15 の春、私は父の転勤に伴い、滝川市から釧路市春採 54 番地に住む事となり、釧路第一高等学校に入学する事となりました。その後、労使紛争により 16 期を最後に廃校となりました。当時の釧路は、人口経済共に道東の中心で漁獲高日本一や、太平洋炭鉱、二大製紙会社、名橋第四代目幣舞橋が記憶にあります。

高校の部活は応援団を 3 年間続け、押忍の精神が良かったのか、卒業後は東北海道いすゞ自動車・大型部品課に勤務する事となりましたが、その後試験を受け富士火災海上保険(株)釧路営業に入社しました。それ以降色々ありましたが、地域とのつながりでは春中の P T A 会長、そして釧路市 P T A 連合会長を引受ける事になりました。（途中割愛）

最後になりましたが、学校機関が必ずしも教育の終了を意味するものではないと思います。人間、一生

勉強と良く聞きますが、人生の成長の過程で、生活から学び、先輩・同年輩・異性から学び、子育てから学び、そして社会から多くを学ぶそれこそ、生涯学習だと思います。人を通して見聞を広め、少しでもその時代の役に立つ様、学ぶ事が大切だと思います。釧路南ロータリークラブ、クラブ活動計画書、ロータリーの綱領にある「奉仕」の言葉その通りだと思います。

■表敬訪問、謝辞

本日は、お忙しい中、当クラブの表敬訪問にお越しいただき、ありがとうございました。白糠ロータリークラブ石森会長よりお祝いの言葉をもらい大変感謝しております。また、石森会長の会長方針が目標を達成し、無事に帰港式を迎えることが出来ますよう、お祈り致しますとともに、白糠ロータリークラブの会員皆様のご健勝をご記念いたしまして、表敬訪問の謝辞とさせていただきます。本日はありがとうございました。



・次回のプログラム

7 月 3 0 日（金）

「夏祭り例会（家族同伴）」夜間例会

会場 岸壁炉端（MOO）

担当：親睦活動委員会

・点 鐘 木内会長
今週の会報担当：原田 眞則会員